

エコグッズ（省エネ家電等）

技術概要

環境に配慮したエコグッズとしては、省エネ家電（待機電力を含めた消費電力の省エネルギー化を図った家電用品（エアコン、テレビ、VTR、冷蔵庫、洗濯機、照明器具、コピー機、パソコン等）の他、洗剤の不要な洗濯機等、多種多様なものが商品化されている。

新都市での導入効果について

新都市で積極的にエコグッズの需要を創出することにより、エコグッズの普及・市場形成の契機となる。また、新都市の住民にとっても、エコグッズを日常的に利用することで、環境への配慮が醸成される。

導入における課題（対応策）

価格が若干割高な場合、自主的な需要が生まれ難い。

公的機関等においてグリーン購入（エコグッズの購入）を率先して行うとともに、それをPRすることで、エコグッズの購入の機運を高める。

その他（導入状況・技術開発等動向・将来見込み等）

エコグッズの一つである省エネ家電については、財団法人省エネルギーセンターで、平成14年3月より、全国の家電販売店50店舗に省エネ製品普及推進店として「省エネパンフスタンド」を設置している。スタンドは、

1. 省エネラベルの本体表示を実施している。
2. 省エネ型家電製品の販売を推進している。
3. 省エネ型家電製品や各種制度に関する研修を実施している。
4. 省エネに関する各種制度を販促に役立てており、消費者に対しても積極的にPRしている。

等々について取り組んでいる店舗を対象に設置し、家電製品の省エネ性能の最新情報が一目でわかる「省エネ性能カタログ」、省エネのワザがわかりやすく解説されている「家庭の省エネ大事典」、省エネ型製品の選択のポイントと各種制度が解説されている「省エネ型電気製品の購入手引き」、省エネラベリング制度のごあんない」など5種類のパンフレットを配布している。

注：各種資料により(株)エックス都市研究所作成